



新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報

東京支部だより

創刊号

〒276-0023

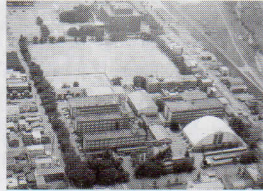
千葉県八千代市勝田台3-41-12

発行人：支部長 中野 緑栄

編集：会報編集委員会



新築された長工会館



創刊にあたって

支部長 中野 緑栄

東京支部の皆さん、ご健康にてお過ごしのことと存じます。バブル崩壊後のわが国の経済環境は厳しく、中々好転の兆しを見せずに推移しています。会員の皆さんの中には種々の困難に遭遇され、日夜ご苦闘されておられる方も居られると存じます。一日も早く苦境を乗り越えられる事を切に祈念いたします。

母校創立100周年記念事業には、支部の皆さんから絶大なご協力をいただき（募金者数765名、募金総額21,990,067円）、総ての行事を無事終了することが出来ました。本当に有難うございました。

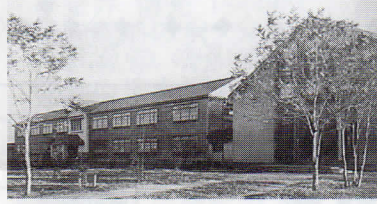
本会では、母校創立100周年を機に平成14年7月13日から染織、機械、化学、電気、電子・電子機械会の連合体を解消し、新体制でスタートしました。本会の目的は会員相互の親睦・向上を図ることにあります。このため旧体制でも種々の行事を行って参りましたが、より目的達成に向けて活動を充実するためには、(1)支部活動の現況を会員の皆様によく理解して頂くこと。(2)支部活動に会員から積極的に参加して頂くことの2点が最も重要と考えております。

第1点の具体策の一つが「東京支部だより」の発行です。皆さんのご理解とご協力で永続して行きたいと考えております。

第2点については、①役員各位に積極的に本会の活動に参画して頂くこと。このため、企画・総括、外部委託、名簿、総会・懇親会、会計、活性化チームを設け、平成14年9月28日から活動を開始しております。この「東京支部だより」に各チームリーダーから活動の現況が報告されております。②会員の皆様からの会へのご意見・要望の表明および行事に積極的ご参加を頂くことです。ご意見・ご要望は各役員へどんどんとお寄せ下さい。もちろん「東京支部だより」への投稿も大歓迎です。

本会も今年で25年目を迎えます。会員数は、平成15年1月末現在2,556名です。最近では種々の事情から新入会員は殆どなく、本年も卒業生の就職は、ほぼ100%であったと聞いておりますが、新潟県内での就職が殆どという実態です。従って、会員数の増加は今後とも余り期待は出来ません。このような状況を踏まえ、本会が皆さんにとってより身近な、参加して頂いて良かったと思っ頂ける会に育てて行きたいと役員一同努力して参ります。

皆さんの温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げ、皆さんの一層のご健康と発展を祈念いたします。
(おわり)



母校の思い出

顧問 星野 周助

今から72年前に卒業した星野です。新生支部の発足おめでとう。これからは会員数の増減など問題外である。

支部活動の原点は、日本の首都における存在価値観であり、支部会費を納める同窓でなければならない。すべての活動はこの思想を原点とし崩してはならないことを守るべきである。

広大な新潟県内の全産業企業地の子弟が競って県内のただ一校、母校を目指しての入学、他校には見られない学習と実習を兼ねた独特の引き継がれた校風と「長工魂」に育てられた伝統が残っていた。特に言いたいことは、私が尋常小学校から入学した第一期生であることである。私のクラスは25名、旧制中学校から、高等小学校からと入学する中で、尋常小学校から入学した私がいちばん年下で年齢がバラバラだった。

私が級長を命じられたことから嫉妬でイジメの毎日。いつも私に殴りかかった年上の2名がいた。その時は悔しくて泣いた。私がバスケット部に入った理由をここで白状する。身体のフェイントとこなし方、ストレートのパンチ力、練習のあと、人に気づかれないようにボクシングのオフェンス練習。相手の顔にストレートを一発、鼻血を吹き出させて喧嘩はおしまい。(のち、当時の大日本武徳会の銃剣術で段位を取得)仲良くなった。

精神的に大きな影響を与えて下さった先生達が忘れられない。実習関係に多かった。

小林 晁治先生(ちようさ)、山本 佐五郎先生(さご)、盛田 英治先生(キンちゃん)、吉田 操先生(ソース)、西脇先生(テンジョウ)その他書ききれないが、凶案の染谷 与志雄さんの飄々とした人物には忘れがたいものを感じている。私のクラスメートは戦争の犠牲もあるが、みんな死んでいる。生き残っているのは私1人である。
(おわり)

各チームの活動状況

懸案事項となっていた各科ごとの総会、行事等を統合するための作業チームが発足し、本年7月19日に予定されている統合後の初総会及び本会の活性化に向け作業を行った。その概要を下記する。

◆企画・総括チーム 並木 政治 (S28W)

我がチームは、支部総会、懇親会の実施日の決定、議題、案内状の立案、支部活動の年間計画及び、日程立案、各チームの活動状況フォローアップ対策立案等々、問題が山積しています。その中でいかに、同窓の皆さんと、一緒に楽しく、効率よく、連携のとれた支部活動ができるか、役員一同熱心に検討しています。どうか同窓会員の皆さん、平成15年7月19日(土)の東京支部総会に出席を賜り、ご意見と、応援、宜しくお願ひ申し上げます。

◆外部委託チーム 星野 弘明 (S30C)

平成14年7月長工同窓会東京支部総会が終わり、各科合同統一化推進が始まった。二宮チーフを中心に9月基本計画作成。10月最新版基本フォーマットの決定、外部委託業者の選定、郵送、返信、会費の取りまとめ方法などについて検討した。11月18日の理事会で各チームの経過報告説明、今後のスケジュールについての検討が行われた。基本データの精度、セキュリティ、管理、活用について同窓会員が有効活用できるよう、チーム全員の協力により会員各位の役にてるものをつくりたいと願ひ努力中です。

◆名簿チーム 二宮 守栄 (S29E)

名簿チームは、会員に信頼される名簿と、支部活性化に役立つ情報を提供をモットーにしております。この実現には難題もあります。例えば日常と定期的なメンテナンス、積極的な会員情報の収集、セキュリティ等々。現状は、各科の名簿担当者のご努力で約2,600名の有効会員名簿が出来上がりました。今後更に各チームと連携を密にし、会員のご期待に添えるよう努力して参ります。此らの実行に更なる皆様のご支援ご協力お願ひします。

◆総会・懇親会チーム 田村 進 (S38E)

今年から、総会・懇親会チームをまとめることになりました38年電気卒の田村でございます。総会・懇親会チームは毎年実施しております、総会及び懇親会の世話役でございます。

先ずは、限られた予算の中で内容の充実をはかりました、来年も出席したいと思って頂くよう心がけていきたいと思ひます。いわゆるリピート者のアップです。また、卒年毎、職場毎または出身地域毎での懇親をあげるためにも何か考え出席者の増加を図りたいと思ひますので、アイディアがございましたらご連絡下さい。

◆会計チーム 野村 清弘 (S30C)

平成14年10月14日、ルノアール四谷店にて、金井サブリーダーの司会進行と小島氏の記録係のもと、議事資料に基づいて審議した。平成14年11月18日の理事会の席上で新しい郵便振替口座を開設した旨の承認を受けて、各科に振替用紙を配布し、11月末日をもって財産一本化を完了した。平成15年度予算案については、中野支部長より提案があり、当チームは、それを参考に検討し、平成15年5月12日の役員会に図り、提案通り承認された。各位の御支援、ご協力の程お願ひ申し上げます。

◆支部活動記録チーム 片桐 八十八 (S30M)

支部活動記録チームは、統合前の各科の資料保管と統合後の各資料の保管管理を一元化するための立案、作業を効率よく行おうとするために設けられた。各チームごとの議事録、役員会、理事会の議事録、総会資料等を保管する。原則としてペーパーレス(電子ファイル)化を進めることとした。

◆活性化チーム 田原 吉郎 (S20C)

同窓会の活性化は永遠のテーマでありその責任の重大さを痛感しております。長工百周年記念行事も盛会裡に終り同窓生諸兄にはホット一息されておられる事と思ひます。しかしわが東京支部は統一の初年度であり今後の活動の成否が掛っている大事な年の始まりです。活性化チーム一同奮起して取組んで参ります。先ずは次の活動を企画し実現したいと考えています。①支部活動状況の広報②同級会や職域活動の情報収集③趣味・同好会サークル結成④ボランティア活動。企画を具体化して御案内致しますので奮って参加してください。

統合後の役員紹介

Table with 2 columns of member information including No., Name, Position, and Graduation Year.

企画:企画 総括チーム 外部:外部委託チーム 名簿:名簿チーム 総会:総会・懇親会チーム 会計:会計チーム 記録:支部活動記録チーム 活性:支部活性化チーム



創立100周年記念
2002年

越の歴史百年



昨年11月9日、母校が創立100周年を迎え祝賀記念行事が行われた。当支部からも多数の同窓生が参加した。その中から下記の方々に感想文を寄せて頂いたので紹介する。

◆井口 正一 (S23II) 母校創立100周年記念行事所感

県立長岡工業高等学校創立100周年おめでとうございます。体育館での記念写真を見ると集まった同窓生は約300名である。卒業は、戦後昭和22年第Ⅱ本科機械2年である。もう一年入れば第Ⅲ本科の卒業である。更にもう一年居れば新生高校卒業であるとの事であったが入学しなかった。校舎は焼けて無かったので中学を間借りした。又は津上製作所の呉羽紡績などと方々間借りや借家であった。

勉強の思い出はあまり無いがスキーの思い出が強く、高田(現上越市)の金谷山の大会で少年青年壮年300人中14番であった。コースは長距離18kmであった。

地元の大会では、長岡市長杯悠久山大会である。この時コースを作られた人は、長距離レースのオリンピック選手の増田選手であった。個人のレースでは増田選手が第一位、私が第二位であった。リレーでは長工の私のチームが第一位となり、チーム優勝でカップを頂いた。

昭和23年卒業の春に、兄の紹介で神田のヤマギワに就職した。平成七年まで、50年勤務し退社した。長工も輝かしい100周年でありましたが、次の100周年に向けてバトンを繋ごうではありませんか。

◆山本 貞夫 (S27M) 母校の思い出

私たちのクラスは旧制最後の昭和21年の入学である。私はそのクラスの補欠入学者である。二才年長の兄が電気科に在学して居り長工の事情等はある程度承知していた。家も長工の対岸にあった為、校舎の白い瓦も良く見えた。

昭和24年4月入学式の際の盛田 英治校長の新入生への訓辞「新入生諸君、稚心を去れ」

鮮烈な印象で強く私の胸に残っている。「本校は大人として待遇する」と云った趣旨の内容であった。そして入学したその年から卒業する迄の3年間、週5日制、1日7時間授業であった。カリキュラムは大学と同様、選択制が採用され、先輩と一緒に受講した記憶がある。戦後の混乱はあったが昭和23年に竣工したあの木造の校舎こそが私たちの母校であった。それから51年経過した。遠い昔の様でもあり、ついでこの間の事の様にも感ずる。

◆小嶋 義輝 (S37C) 「歴史100年未来につなぐ世代間駅伝」に参加して

母校の創立100周年記念の年に還暦を迎え、この縁を大切にしたいと思い記念行事には色々と参加させて頂きました。

駅伝もその一つですが参加のきっかけは、46歳の頃「体力・気力・知力」を後輩に負けてはならないと考えてジョギングを開始し、趣味として継続して来ましたが、記念事業の案内の中に駅伝がある事を知り、参加を決めました。

私は今回、13区間めをタスキに思いを込めて、故郷の懐かしい田舎道を走りましたが、40年前には何も想いもしなかった、故郷の大自然は「鋭気と爽快感」を与えてくれ、ゴールの時には、達成感や充実感を得る事が出来ました。帰りは、高橋新平先輩と「長工魂」の話に華が咲きました。本部よりの写真のCD-R、ダビングビデオを拝見し、駅伝に参加させて頂き本当に良かったと感謝しております。私は年4回程マラソン大会に参加しておりますが、興味のある方は共に集まり走ろうでは有りませんか。

—飛翔悠久—

◆金井 博光 (S44MB) 創立100周年に出席して(卒業以来の母校)

長岡駅前ホテルから母校までの久しぶりの道は、遠く長く感じました。あの頃は勢いで歩いていたのか…とも思いながら、懐かしさを胸に母校の門をくぐりました。

校長の笹本先生は長工の着任が二度目で、100周年記念行事の後、定年退職されるそうです。笹本校長は、大学を卒業されて間もなく私達44年組がお世話になりました。その関係で、歴代の学校長の中でも特に身近に感じられる存在でした。

11月だというのに雪を感じさせるあいにくの天候の中、100周年記念式典は始まりました。学校長式辞、来賓祝辞、生徒代表よるこびの言葉、と続いた後、校歌斉唱でした。池之端文化センターで合唱する校歌と違い、本校で歌う校歌は青春時代そのものでした。

100周年記念式典、記念祝賀会に参加させていただき大変有意義に過ごす事が出来ました。記念行事を担当されました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆原 勝英 (S46MA) 創立100周年に出席して

平成15年11月9日、母校にて百周年記念が行われるという事で金井先輩を誘い、11月8日夜新幹線に乗って長岡に向かい、ホテルオオタニにて宿泊。翌朝、みぞれ混じりの雨の中、母校に向かい途中の景観は30数年前と大差が無いように思えた。母校に着いて驚いた事は、昔の面影がほとんど無かった事に、一抹の寂しさが脳裏をよぎった。ただ少しほっとしたことは、大体育館だけが残っていた事。

記念式典が終わり、長工祭を見学し各教室を見て、昔と大きく様変わりしていると感じられた。我々の

頃は、ボロ校舎で男ばかりでしたが、女子生徒が多く勉強環境が大きく変わっていった。母校を後に、30年後に再び訪れたいという思いで、長岡を離れた。



平成14年度の総会紹介

長橋 久美夫(S33W)

平成14年度長工同窓会東京支部の総会並びに懇親会が、昨年7月13日上野・池之端文化センターで盛大に開催された。

既に24回目を重ね、年々同窓の絆は高まり年1回とは言え、和気藹々和やかな雰囲気のもとで行われている。母校長岡からも同窓会長、学校長を始め多数の同窓役員に出席賜り錦上華を添えて頂いている。

東京の中心・上野の森で校歌、応援歌の合唱などは、僅か3年間の学生生活が新たな友情の強さを感じさせる。高齢少子化を迎えて年々生徒数(同窓生)の減少傾向は拭い切れないが、一人でも多くの方々が顔を合わせる事が元気の妙薬だ。100年という歴史のある長工魂で。

池田 豊(S52e)

毎年恒例の同窓会、5年ほど前から懇親会の運営委員となり、昨年はついに運営委員長として、当日を迎えた。当時失業中であったため、懇親会の閉会のあいさつで、求職活動中をアピールしてしまいました。やはり持つべきは良き先輩・同窓生かな、おかげさまで無事就職することが出来ました。この場を借りて報告いたします。今後は昭和50年以降に卒業した人達の出席者を増やす事に努めたいと思っています。



上野池之端文化センターの会場



各科別の受付は今回で最後になりました



中野支部長のご挨拶で懇親会開始



本部同窓会から来賓として室賀会長他がご出席

平成15年の総会は恩師武田先生も出席

平成15年の総会に、恩師武田昭三先生がご出席くださる事になりました。皆さん是非お誘いあって参加し懇談しようではありませんか。



S30機械卒クラス会 (1997.12.7水上温泉郷にて)



過ぎし日の武田先生

編集後記

- ◆支部活動記録チームの打合せの席上、支部を活性化するための一つとして会報発行の提案を行った。私は、幸い放送大学の同窓会で会報の編集を行っていた関係で、話はトントンと進み結局私が編集する次第となった。
 - ◆月日の経つのは早いもので、1月に提案し6月には発行することとなった。まずは創刊する事に全力を注ぎ、関係各位のご協力でここまでこぎ着ける事ができ深謝している。なお、文字数の制限があって、編集上多少原文を変更したのもありお詫びしたい。(YASO)
 - ◆同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員一同)
- コメントあて先:片桐 八十八(TEL & FAX:0426-25-6076, Eメール yaso@mtf.biglobe.ne.jp)

☆...*:。★。.:*:。☆...*:。★。.:*:。☆...*:。★。.:*:。☆...*:。★。.:*:。☆...*:。